

台北駐日経済文化代表処横浜分処

張淑玲処長

地域の平和と安定守るため



張淑玲処長

8月2日、米国のナンシー・ペロシ下院議長が台湾を訪問し、蔡英文総統と会談したことを受け、中国は報復として、弾道ミサイルの発射を含む大規模な軍事演習を台湾本島周辺で実施しました。台湾政府は、台湾海峡の平和と安定を何よりも望んでおり、緊張を高める挑発行為は断じて行いません。

特別寄稿  
同時にまた、民主主義国家として、他の民主主義国のリーダーや台湾を支持するあらゆる友人の訪台を歓迎します。カンボジアのプノンペンで開

かれた東南アジア諸国連合(ASEAN)の関連外相会議が同日から開催され、それに合わせて日米豪の外相は、台湾海峡の平和と安定の維持に尽力することなどを盛り込んだ共同声明を発表しています。

これに対し、台湾外交部は「心からの謝意」を表明するとともに、大規模な軍事演習など世界の平和と安定に深刻な影響を与える中国の一連の行為を強く懸念し、弾道ミサイルの発射を非難しました。また、中国の挑発行為は地域の緊張を高め、台湾海峡の現状を無視したものだとし、直ちに軍事演習を中止するよう促しました。

中国は台湾に対し、軍事的、経済的に理不尽な恫喝や脅しをしています。しかし、一連の行為はお互いの緊張を高めるだけでなく、国際社会の安全保障上の強い懸念にもなっています。

台湾海峡の平和と安定は、この地域の繁栄と安定にとって重要です。台湾はこれからも、日本をはじめ、民主主義や人権、法の支配などの価値観を共有する国々と手を携え、主権と地域の安定を断固として守ります。民主主義と自由の防衛ラインを守り抜く覚悟と自信があります。引き続き、各国の理解と支持を願うばかりです。